©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所　湯川記念館史料室

湯川博士米原子力委を訪問

【ワシントン特電三十日三好修発】欧州を回っていまニューヨークに滞在中の湯川秀樹博士は三十日午後ストローズ米原子力委員長の招きでワシントンのAEC（米原子力委員会）を訪問、まずストローズ委員長とリビー委員、ついでデーヴィス同原子炉局長、グッドマン同次長らと三時間以上にわたって日米間原子力問題について懇談した。湯川博士はワシントンのユニオン・ステーションに到着後「日本は英国の動力炉にも関心を示しているので米国としても日本をたいじにする理由があるだろう」と語っていたが、AECとの会談中にも日本の動力炉輸入の問題がかなり論点になった模様である。

動力炉は急ぐな

まず国産の訓練用から

ス委員長も勧告

湯川博士はストローズ委員長が最近発表した「放射性降下物の少い純粋爆弾」説には「ああいう全く賛成できない話をするのは困ったことだが、彼の地位と性格との間には何か割切れないものがひそんでいるようだ」と語った。

こうした言明からして原子力の将来について相当つっこんだ話が展開され、ストローズ委員長がその平素の公式言明とはかなり異った印象を与える発言をしたことがうかがえるが、湯川博士は「これについては将来明らかにする機会があるかもしれない」と語った。

なお谷大使は同夜湯川博士のワシントン訪問を機にストローズ、リビー、デーヴィス、グッドマン各氏およびアットウッド米科学アカデミー国際関係部長らを招き夕食会を催した。湯川博士は三十一日ニューヨークに帰り八月中旬まで滞在ののち、バークレーのカリフォルニア大学でおよそ一ヵ月過し、九月十七日からシアトルのワシントン大学における理論物理学会に出席、九月末帰国する。

【注】指数函数炉とは、ウラニウムなどの核燃料が、一定の量に達したとき熱反応を起しはじめる臨界量について研究する。

上湯川博士
下ストローズ委員長

会談後湯川博士は「政治的な問題には一切ふれなかった」と前置きして次のように語った。

◇動力炉輸入の問題についてはAECの連中は英米いずれから入れるにしてもあまり急がない方がよいという見解だった。私自身英国ではコックロフト所長の招きでハーウェルの原子力研究所を見学しいままた米当局と話し合う機会を得たが、依然動力炉のことはそう簡単に決められぬし、急がぬ方がよいというこれまでの考えを何ら変える必要がないと思っている。米国としてもどの型がいいかということはまだわっておらず、また客観情勢は急速に動いているのである。

◇AEC当局者はプルトニウムが非常にやっかいなしろ物で、これを原子炉に使うにはなお相当な研究が必要であるとし、将来にとっての重要な問題だということを特に強調していた。（これは米国からの動力炉輸入にともなう"ヒモ"問題とも、プルトニウム生産と発電兼用の英国式動力炉の問題とも関連している）

◇日本の原子力開発上何よりも先に必要なことは技術者の訓練だが米側は訓練用原子炉については全面的に情報を提供しうると言明した。AEC側は米国での経験では研究用原子炉と訓練用原子炉の両立はむずかしいとしていた。訓練のためならやっかいな金のかかる原子炉を買わなくとも、日本自身でも作れる"指数函数炉（エクスポネンシャル・レアクター）"のようなものから入るべきだろう。

なお湯川博士は「原爆実験禁止の問題について話合ったか」との問いに対し「そんな不愉快な話はしなかった」と否定しながら「ストローズ委員長と話合った印象では彼は個人的には非常に人間的な人という印象をうけた」と意味深長な論評をした。

エジプトのスエズ運河国有化による日本海運界への影響について、運輸省では各方面の情報を集めて検討を行ってきたが、これが国際的な武力紛争にまで発展しない以上、大きな打撃はないとしている。

[illegible]河航行についての安全にも責任を負うことはできない。

一、スエズ運河会社は、七月二十六日付のエジプト政府命令に基いて支払われた航行料金は、正当なものと[illegible]

中共軍、ビルマに侵入

北部国境ぞいに八百キロ

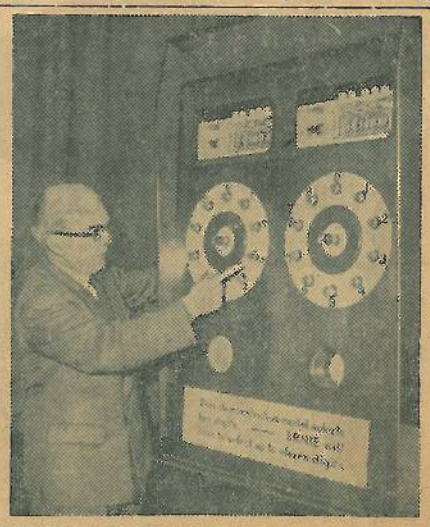
鞍山で四十年も使える新鉱脈を発見

中共の第一次五ヵ年計画で新たに開発された地下資源は数え切れぬほどにあがっているが、鞍山付近にはケタはずれな大量の鉄鉱石が埋蔵されているという。最近の北京放送によれば、一九五三年第一次五ヵ年計画がはじまって以来現在までの三年間に鞍山地質調査公司の数千名の調査隊員が調べた結果、初めの予想より数億トンも多く埋蔵されていることがわかった。これら新しく発見された鉱脈だけでも同製鋼所が第二次五ヵ年計画の最後の年に達する生産水準で計算しても四十年余は使えるという。（RP）

海外こぼれ話

英国に宝クジ用新式抽選機現る

経済建直しにのり出したマックミラン蔵相が、消費抑制のためクジつき貯蓄債券を発行すると発表したのは四月のことだが、その債券（一枚一磅）はいよいよ十一月から売出される。写真は最近完成した電気仕掛けの新式抽選機アーニー（ERNIE）を披露するヒル郵政相。（キースト特約）



新原理の原水爆兵器製造中

米原子力委が報告

【ワシントン三十一日発＝UP特約】米原子力委員会は三十一日発表された同委員会の議会に対する第二十回半期報告の中で原子力分野における国際間の知識および技術交流が最近著々と進められていると次の点を明らかにしている。

一、過去六ヵ月間における情報交換実績をみると、四十七ヵ国から三百二十六名が米国の研究施設を訪れたほか三十六国から四百四十七名が原子力委本部を訪問した。

一、米国は核兵器実験を不必要とするような長期にわたる国際協定の成立を要望してきたが、協定が成立するまでは米国としては実験を[illegible]ることが必要と考えられるが実験に際しては危険水[illegible]に放射能灰が降下せぬよう危険防止措置がとられる。

一、米国は現在新原理による数種の原水爆兵器を製造中である。

一、米国はいまや西欧諸国のうち最大のウラニウム生産国となった。年産高は三百万トンに達しているが、近くこれは倍加する。

米軍基地の撤退重ねて要望

アイスランド外相

【レイキャヴィク三十日発＝AFP特約】グットモントソン・アイスランド外相は三十日「アイスランドは一九五一年のアイスランド・米条約を改正し現在米国がアイスランドに維持している基地を返還してもらうようにしたいと思っている」旨を改めて述べた。

五氏を名誉回復

東独共産党中央委

【ベルリン三十一日発＝UP特約】東独社会統一党（共産党）中央委員会は三十一日、一九五三年一月に追放されたアッカーマン元外相代理、シュミット元党婦人部長、同年八月追放されたジェンドレッキー元労組委員長、同年五月追放されたダーレム、一九五二年十二月追放されたメルカー両元政治局員ら五名が名誉を回復した旨を明らかにするとともにライク元ハンガリー外相の裁判事件に関係した九名の元党員に対するチトーイズム偏向非難を取消すと発表した。

エコノミスト
8月4日号　好評発売中　定価・70円
増強すすむ自衛隊
日本産業構造論……高橋正雄
高まる世界軍縮の機運
平和か？軍縮が効果的な軍拡か？その意味を探る！
学窓に映る戦後の風雪有沢広巳
外資は何をもたらしたか？
「世界海運界」の現状と展望
★ホーチミン会見談……三郎
★探算悪化の「石油業界」
十月増資
八社の業績は
（化繊ダイハ
帝国ツほか
毎日新聞社

純良砂糖の
NS
名古屋精糖
社長　横井広太郎

永井荷風選集
全五巻
話題を呼ぶ私家版・発禁

オール生
特集あなたは間違っている
●あなたの上位はあいている……日本化粧社長
●あなたの同業はまごついている…赤札堂社長
●あなたはお金をこぼしている…花王石鹸会長
●あなたは能力に不足はないが……電通社長
●あなたはムダに生命を削っている…ラジオドクター
原　小泉　磯部　吉田　石垣
計画成功術
助けてくれる仲間をつくれ……河
仲間をつくれ……藤原
≪長闇堂世間ばなし≫お返しばたらき……
世界の成功者物語……鋼鉄王アンドルーカーネギー　奮闘記

c111-026-023